

# 第19回のじぎくオープンゴルフ選手権大会

## 2次予選競技会

開催日：令和7年 3月17日（月）予備日；4月14日（月）

開催コース：六甲国際ゴルフ倶楽部 東コース

兵庫県ゴルフ連盟

六甲国際ゴルフ倶楽部競技委員会

### ローカルルール

- アウトオブバウンズは、白杭のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。
- 修理地は、青杭または白線で示す。
- イエローペナルティエリアは黄杭または黄線、レッドペナルティエリアは赤杭または赤線によってその縁を定める。  
線と杭が併用されている場合はその線がその縁を定める。
- 5番ホールのフェアウェイ左側、8番ホールのフェアウェイ左側にある、赤杭に上部が緑の杭によって定められるエリアはプレー禁止区域である。赤緑杭を超えたボールに関しては、ボールの入った位置より2クラブレングスの範囲内でドロップし、1打罰で救済を受けなければならない。スタンスがかかる場合は、無罰で1クラブレングスの範囲内でドロップすることができる。
- ジェネラルエリアにある道路(カート道を含む)排水溝は、動かさない障害物とする。
- 電磁誘導カートの2本の人工の表面を持つ軌道は、全幅をもってプレー禁止の修理地とする。ただし、スタンスのみが障害となる場合は、そのままプレーすることもできる。
- 人工の表面を持つ道路に接した排水溝は、その道路の一部とみなす。
- 特定の用具の使用制限
  - 『適合ドライバーヘッドリスト。ローカルルールひな型 G-1』を適用する。
  - 『溝とパンチマークの仕様・ローカルルールひな型 G-2』を適用する。
  - 『適合球リスト・ローカルルールひな型 G-3』を適用する。
  - 『壊れた、または著しく損傷したクラブの取り替え・ローカルルールひな型 G-9』を適用する。
- 規則 10.3a は次のように修正される：プレーヤーはラウンド中に委員会によって指定された者以外をキャディーとして使うてはならない。  
ローカルルールの違反の罰
  - そのプレーヤーはそうしたキャディーに援助してもらったその各ホールに対して一般の罰を受ける。
  - 違反がホールとホールの間や、ホールとホールの間まで続く場合、プレーヤーは次のホールで一般の罰を受ける。
- 規則 5.5b は次のように修正される：2つのホールのプレーの間、プレーヤーは次のことをしてはならない
  - 終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行う。または、
  - 終了したばかりのパッティンググリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってパッティンググリーンをテストする。
- 危険な状況のためのプレーの中断は、1回の長いサイレンによって伝えられる。その他すべての中断は、短いサイレンの繰り返しによって伝えられる。どちらの場合も、プレーの再開は1回の長いサイレンによって伝えられる。(規則 5.7b 参照)

### 競技の条件

- ゴルフ規則  
日本ゴルフ協会ゴルフ規則とこの競技のローカルルールを適用する。
- 競技委員会の裁定  
競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。
- 競技終了時点  
本予選競技は、競技委員長が成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。
- 移動  
正規のラウンド中、乗用カートの乗車を認める。
- タイの決定  
順位がタイの場合は『マッチング・スコアカード方式』により順位を決定する。

## 6. 通過者

最終予選会通過者決定はHdcp Index Aクラス(～9.9) Bクラス(10.0～18.0)にクラス分けを行い、Aクラス・Bクラスあわせて24名が進出できる。総参加者数により、通過者数に端数が出る場合は、A・Bクラス分けをした時点のクラス別総参加人数が多いクラスへ比例配分時に1名多く付与します。

### 注 意 事 項

1. 男性ティーマーク： 緑 マーク 女性ティーマーク： 赤 マーク
2. 正規のラウンド中に2点間の直線距離以外の高低差などが計測できる距離測定器を使用した場合は、プレーヤーは規則4.3a(1)の違反となる。
3. 競技の条件やローカルルールに追加、変更のあるときは、スタート前に掲示して告知する。
4. グリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
5. 練習は、指定練習場で行い、打球練習場では備え付けの球を使用すること。(スタート前の練習球は1籠までとする) 9ホール終了後、練習グリーンでのパッティング練習は可とする。
6. スタート時間10分前には、必ずティイングエリア周辺に待機すること。
7. スタートホールにて最新のHdcp Index 証明証(ハガキ・プリントアウト・アプリ画面)をご提示して下さい。
8. プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当にあけないように注意すること。プレーの不当な遅延は、ゴルフ規則5.6aにより罰せられる。
9. ラウンド中、競技者は部外者を近づけないよう十分、留意すること。これを怠ると、規則10.2aにより罰せられることがある。なお、部外者のコース内立入りは禁止する。
10. 委員会は競技中を含め、いつでも出場者に相応しくないと判断した競技者の参加資格を取り消すことができる。
11. 本競技のスコアは、「Tスコア」としてJ-sys内で扱われる対象の競技スコアとする。

(プライベートラウンドのスコアと区別)

本競技の当日スコアは、プレーヤーもしくは所属クラブで登録をお願いします、連盟・事務局では登録いたしませんのでご注意願います。

競技委員長 小嶋 基則